

2年度 学校だより 3月号 2月26日発行

横浜市中区山元町3-152
電話 641-4857



やまもと

横浜市立山元小学校
校長 石田 薫

自分を大切にできる子 共に生きる子 山元の子



今年度もありがとうございました。

校長 石田 薫

今年も裏門の紅白の梅が咲きそろい、進級・進学の手頃がやってきました。6年生は記念すべき100回目の卒業生で、3月19日には、この山元小学校を巣立っていきます。新型コロナウイルス感染症拡大の為、休校から始まり、軒並み行事を中止する中、6年生は、運動会・委員会活動・クラブ活動等可能な機会をしっかりとらえてリーダーシップを発揮し、学校をまとめてきました。

3週間後この山元小から巣立っていく子どもたち45名の未来が希望にあふれ、幸多い人生を歩んでいくことを心より願っております。

先日、6年生が社会科の授業で横浜大空襲の写真から、当時の人々の生活の様子を学習していました。

最初は、「煙がたくさん出ている。」「煙の下では、たくさんの方が逃げまどっているんだろう。」「怖かったらうな。」「家もたくさん焼けたらう。」「

防空壕に逃げたんだろう。」「防空壕だって、たくさんの方が入れるわけではないだろう。」「

「そんな状況だったら、何とかして自分だけは助かろうと思うのではないか。」「

「人より自分・そんな気持ちになるのだから。」「

と対話を重ねながら『戦争は、大切な命や財産を奪うだけではなく、人の心までも奪ってしまうものなのだ。』と学習を深めていました。

学習活動に多くの制限があり、本校の教育活動の一つの柱である農園活動ができず、行事や掃除などの日々の活動も見合わせ、机上の学習が増えた令和2年度ですが、どの学年も子ども達が自分の言葉で自分の思いを語り、友達との対話を通し

て学習を深めることが出来ることに、感心と感動の連続です。各学級で1時間1時間の授業を積み上げてきた現れだと思っています。この子どもたちの姿を支えてくださった保護者の皆様に感謝しております。

大変な年になりましたが、様々な場面で、今年度も学校へのご理解・ご協力、誠にありがとうございました。